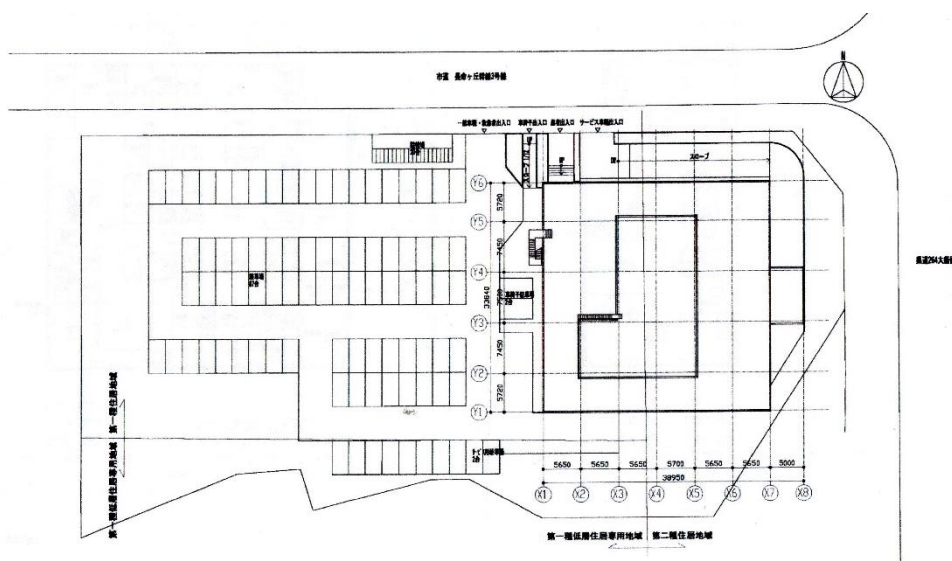




2024年泉病院に太陽光発電を設置しよう

公益財団法人宮城厚生協会泉病院(仙台市泉区長命ヶ丘 2 丁目)の2024年完成予定の新病院基本計画図(右図面)が発表されました。新病院は現在の駐車場の場所に建てられ、2024年4月より使用開始となります。NPO きらきら発電は、自家消費型太陽光発電を新病院の屋上と駐車場に設置することを、泉病院に提案しています。



公益財団法人宮城厚生協会 泉病院建替計画基本構想・基本計画策定業務

太陽光発電の基本設計図は2023年4月以降に作成されますが、仮図面で設置規模を検討したところ、4階屋上には最大で30kW、駐車場には最大で50kW程度設置できそうです。

2022年8号機が完成

若林区荒井の河野様の住宅屋根に

屋根借りくん第2号となる2022年度太陽光発電の一般住宅屋根借り設置が完成しました。仙台市若林区荒井の河野様の住宅です。10月17日・18日に工事し、25日東北電力と連係し、発電を開始しています。



開設40年でリニューアル決定

泉病院院長 長谷部 誠

2022年5月17日で泉病院は開設40年を迎え、病院のリニューアルを決定しました。2023年4月着工、2024年4月新病院運用開始の予定です。その新病院にきらきら発電のご協力で太陽光発電設備が併設されます。多くの方々のご協力をお願いします。

きらきら発電市民共同発電所ニュース

2022年11月号 第95号

〒981-3215 仙台市泉区北中山3丁目17-12

電話 070(2010)3777

HP kirakirahatuden.com/

Eメール hirohata3777@outlook.jp

赤旗



暮らし・家庭



知る 聞く Room

...99...

原発の新増設、再稼働に向けた政府の動きが急です。理由の一つが「脱炭素」。しかし、原発はCO2を出さな... 自然エネルギー研究センター(札幌市)の... 米の研究論文は、米スタンフォード大学のヤコブソン教授(環境工学)が2008年に発表した26の著作です。

原発はCO2出さない？

自然エネルギー研究センター長 大友 詔雄さん

九つの電力源(太陽光、集光型太陽熱、風力、地熱、水力、波力、潮力、原子力、石炭火力)のCO2排出量を比較... 原発はCO2を出さない... 自然エネルギー研究センター(札幌市)の... 米の研究論文は、米スタンフォード大学のヤコブソン教授(環境工学)が2008年に発表した26の著作です。

アメリカの研究論文を紹介

Table with 4 columns: 発電技術別CO2e排出量, ライフサイクル発電所建設運轉戦争・テロ, 総排出量. Rows include 太陽光発電, 太陽熱発電, 風力, 地熱, 水力, 波力, 潮力, 原子力, 石炭火力(炭素回収).

の影響の章。電力源ごとにCO2に換算した排出量(CO2e)を... 建設から廃棄までの排出量です。風力、太陽光など自然エネルギーは燃... 料採掘や輸送は必要ないです。

「燃料の採掘と製造の際に追加的な排出が発生」... 「発電所建設運轉」排出は、建設の遅れにもなるCO2換算排出量のこと。「計画が長いエネルギー技術」は「CO2と大気汚染物質の排出量を増加させ」ます。... 計画から運轉までの間に、石炭火力など、より炭素排出量の多い既存発電を稼働させる必要があるからです。その排出量の最大が原発です。最少は太陽光、風力で、定義上排出ゼロとして各発電技術のCO2eを計算するのは示唆的だ。(第一土曜掲載)

環境日本一をめざす集い

松浦理事がきらきら発電を紹介

10月8日(土)仙台市青葉区広瀬通の市民サポートセンターを会場に「環境日本一をめざす仙台市民の集い」が開催され、50名が参加しました。主催は仙台生ごみリサイクルネットワーク。

指定報告者は3名。きらきら発電とFFF仙台と仙台市。その中できらきら発電が30分間という長い時間をいただき、松浦眞理事がNPOきらきら発電の成り立ちと活動紹介、ならびに仙台市への要望事項を発表しました。

松浦氏は仙台市への要望として、生ごみしたい肥化市民運動の一層の強化、2030年CO2排出削減量の引き上げ、東京都と同様新規住宅建築物に太陽光パネル設置義務化、豊橋市のように生ごみを市自身がバイオマス発電で活用することなどを要望しました。



気候エッセイ(秋の夜長)

柴田町 太齋義明

今年の冬の訪れは早いのだろうか。蔵王の嶺はすでに雪を頂き、澄みきつた空に輝く姿は、息をのむばかりの美しさだ。そのまま絵にしたい程だが、絵心がないのが悔やまれる。

人は古来より絵を描き、歌をうたい、調べにのせて舞い、心を楽しませて来た。

また草花を愛で、月を恋し、心を慰めてきた。こんな人の心はどこから来るのだろう。以前、家で飼っていた猫に、十五夜の見事な月を見せようと抱き上げ顔を向けさせたが、直ぐにそむけてしまった。物を愛でる気持ちはきっと神から人にだけ与えられた心の働きのなだろう。

いや待て。虎や狼は、美しい月夜、高い巖に登り、月に向かって吼えると言うではないか。どんな心なのだろう。私もひとつ満月の夜、月に向かって吼えてみようか。田舎暮らしであれば周りに何の気遣いもいらぬが、さすがにそこまでの勇氣はない。秋の夜長、酒でもかたむけ、月にささやきかける事にしよう。